

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年7月10日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	福島県伊達市役所	代表者名	福島県伊達市長 須田 博行
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	024-575-1159
担当者役職		担当者氏名	
住所	960-0692 福島県伊達市保原町字舟橋180		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	大山 水帆
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	統合仮想基盤(HCI)導入経験に裏打ちされた話は、次年度構築に向けての検討すべき事項、具体的な進め方において大変参考になりました。また、講師との事前の打ち合わせで、今後をシステム更新を見据えたシステム全体最適化についても話してもらった方が良いと判断し、当初の予定を変更して、午後からシステム全体最適化ならびに共通基盤システムについての話も伺いました。システム全体最適化の効果がはっきりとわかり、今後、システム構築の際はぜひ検討、導入していきたいと思いました。
アドバイザーへの要望事項	今回の依頼を機に、今度のご指導、お付き合いいただければと願っております。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年7月9日	9時00分	17時00分	110	370
3-2. 派遣場所	会場名	伊達市役所		最寄駅	大泉駅(阿武急)
	所在地	福島県伊達市保原町字舟橋180			
	最寄駅からの交通手段	徒歩			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員、バンダー	7人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	次期仮想基盤を、統合仮想基盤(HCI)で構築したいと考えていたが、当市の考えている構想とバンダーのそれとに、費用面も含めて開きがあった。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	当市の構想実現に向け、理想としている戸田市での統合仮想基盤(HCI)構築ケースを参考に進めたいと考えている。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	戸田市における統合仮想基盤(HCI)構築経験から、調達方法もコツ、構築手法に関して詳細に話を聞いた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	これからになるが、要件を再検討し、調達方法も再考していきたい。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	統合仮想基盤(HCI)構築費用の明細がまだ出来上がっていないため、それを待って再検討。内容次第では、再度、大山氏にアドバイスを求める予定でいる。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アドバイスをいただくことがメインのため、アンケートはなし。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	統合仮想基盤(HCI)を採用して、管理、運用がしやすいようにシンプルに再構築していきたい。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

